

# Mwe シニア会会報

*Mwe Senior Club*

*NEWS LETTER*

No.16 2006年11月

## 目 次

巻頭言	水品 静夫氏	p. 1
訃報 「新井陽一さんの思い出」	伊東 正展氏	p. 3
学会報告 「IVEC 2006」	影山 隆雄氏	p. 5
寄稿 「LLC(合同会社)起業のお薦め」	柴富 昭洋氏	p. 7
会社紹介 「日本無線硝子株式会社」	奥野 清則氏	p. 10
趣味悠々 「ケーキ作り事始め」	田中 淳氏	p. 13
Mwe シニア会同好会の活動状況		
ゴルフ同好会	奥野 清則氏	p. 17
Mwe シニア会行事の状況と今後の活動計画		p. 21
役員一覧		表紙裏
会員名簿		裏表紙

Mwe シニア会

## Mwe シニア会

### 平成 18 年度役員一覧 (敬称略)

会長 水品 静夫  
副会長 北爪 進  
幹事長 伊東 正展  
幹事 堀 重和、井下 佳弘  
監事 春日 義男(秘書役)  
監事 柴富 昭洋

#### 運営委員

編集担当 正)百々 仁次郎、副) 柴富 昭洋  
委員) 田中 淳、松永 誠

企画担当 正) 平野 裕、副) 堀 重和

同好会活動担当: 正) 奥野 清則、平井 克己  
ゴルフ同好会幹事: 奥野 清則、松本 巖  
平井 克己

囲碁同好会幹事: 平井 克己、平野 裕  
北爪 進

ホームページ担当: 正) 久崎 力、  
副) 北爪 進、柴富 昭洋

会計担当: 正) 平井 克己、副) 赤田 邦雄

活動活性化担当 (地方活動を含む)  
正) 紅林 秀都司、  
副) 石田 修巳、栗井 郁雄、  
片木 孝至、影山 隆雄

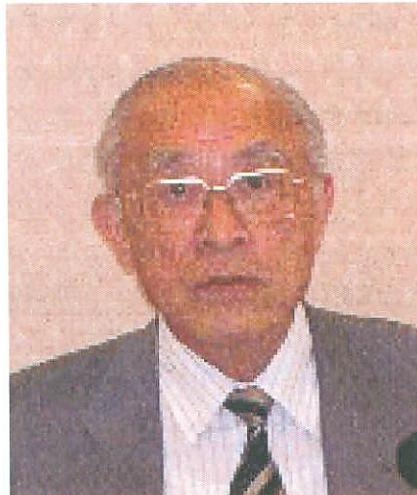
海外研修企画担当: 正) 小林 福夫  
副) 泉 彰、高松 秀男、

発行者 Mwe シニア会  
発行責任者 水品 静夫  
事務局 〒215-0033  
川崎市麻生区栗木 2-6-5  
株式会社ウェブプロフェッショナルズ  
佐藤 軍吉  
TEL/FAX: 044-589-6700  
E-mail: web-pro@cup.ocn.ne.jp  
発行日 2006年11月30日

## 巻頭言

水品 静夫

Mwe シニア会は発足以来今年で 7 年目、会の運営に活性化が求められる時期に入りました。活性化のための具体的方策の第一段階として、本年度は役員選挙を実施しました。選挙により会長、副会長、監事が選出されました。また、会長推薦により、幹事長 1 名、幹事 3 名を委嘱しました。その上で、役員と幹事がメールによる相談を繰り返し、19 名の方々に運営委員会委員を委嘱いたしました。運営委員会には、編集担当、企画担当、同好会活動担当、会計担当、活動活性化担当（地方活動を含む）海外研修企画担当を置き、19 名の運営委員会委員にそれぞれ担当をお願いし、ご了承頂きました。多くの会員に会運営の役割を分担して頂く体制としました。担当委員に本年度の企画の提案をお願いし、提案が出揃ってきましので、9 月 22 日に運営委員会を開催し、運営方針と企画・行事の基本案を承認しました。



役員選挙の実施：会員意見を定期的に会運営にフィードバックする仕組みの確立と役員の交代が目的です。

運営委員会委員：多数(19 名)の方々に委員になっていただきました。 $19/64 = 29.7\%$  (64 : 9 月末現在の会員数) の方に直接会運営に参画していただくことがねらいです。

担当の明確化：運営委員会に 6 つの担当を置き、担当していただく仕事の明確化を図りました。各担当には、正担当と副担当を置き、連絡経路・責任の明確化と効率的な運営との両立を図りました。

活動活性化担当：活動活性化は本来運営委員会が全体として絶えず取り組むべき課題ですが、本年は、Mwe シニア会としては新しい体制を実施に移したので、特に新たに担当を置くこととしました。ここ 2-3 年、地方在住の会員へのサービスを改善する必要があると指摘されてきました。地方在住の会員に副担当としてその地で開催する企画を提案していただくのが目的です。企画行事へなるべく多数の参加者を集めることが運営委員会の仕事になると想っています。このような企画行事を少なくとも 1-2 回／年に実施できれば成功であると考えています。

海外研修企画担当：すでに、ハワイの天文台や韓国のマイクロ波先端技術の視察旅行な

どの企画を実施してきました。情報提供と企画の提案をしていただき、実施していくたいと考えています。

編集担当：充実した会誌の発行は会員サービスの根幹です。編集担当の仕事は、原稿執筆依頼から編集・出版・発送まで多くの仕事があり大変です。今年度から正編集担当と副編集担当のもとに編集委員会を立ち上げていただき、これまで以上に充実した会誌の編集を目指すこととしました。会員の皆様からの積極的な投稿、編集方針に関するご提案をお願いいたします。

企画担当：これまで通り、年度ごとの Mwe シニア会総会、APMC (MWE) 前夜祭の講演会と利き酒会、講演会とバーベキューなどの行事の企画と準備が担当です。

同好会活動担当：これまで通り、囲碁同好会、ゴルフ同好会の行事企画と準備が担当です。

会計担当：これまで通り、会費の徴収、予算案の作成と執行、決算案の作成などが担当です。

委員委嘱に際して、ご質問があった新しい担当の仕事内容についてご説明しました。併せて、これまで通りの担当の役割についても記載し、運営委員会の任務・仕事全体の枠組みをご説明しました。

本年度は新しい運営方法をとったため、行事の実施開始が多少遅れています。来年度までの 2 年間で、新しい運営方針に基づいた企画・行事を順次実施して行く予定です。ご理解くださいようお願いいたします。役員及び運営委員会委員の皆様には、ご多忙のことと拝察いたしますが、是非ともお力添えくださるようお願い致します。また、会員の皆様には企画された行事に積極的に参加してくださるようお願いいたします。



なにわいばら

## 訃報

### 新井陽一さんの思い出

伊東 正展

平成 18 年 9 月 9 日、当会前運営委員新井陽一氏が永眠しました。62 歳の若さでした。新井さんは MWE 展示委員でもありました。3 月の初めに体調を崩し、療養しておりましたが、突然脳溢血を起こし帰らぬ人になってしまいました。謹んでご冥福をお祈りします。

新井さんと言えば、本会会員はまず、毎年の催し物でありました新井邸での燻製パーティと MWE での出展者レセプションを思い出すのではないかと思います。

燻製パーティに参加されたことのある方はお解かりだと思いますが、趣味でも仕事でも、一旦取り組んだものについては、徹底的に極めないと気が済まない人でした。

燻製パーティでも、1 ヶ月前頃から午後 3 時頃になると、会社からいなくなってしまいまます。「新井さんこの忙しいのに何処行くの?」「燻製の仕込みしないとしようがないでしょう。」と言った具合でした。アイ電子を起業後は、外食は高くてまずいと言って、自分で昼食作り始めました。いつまで続くのかな、と思っていましたが、結局死ぬまで 10 年以上毎日作っていました。読者の中にも、試食された方がおられると思います。350 円の弁当食べながら、秘伝のたれで食べた新井シェフのソバの味を思い出すこの頃です。

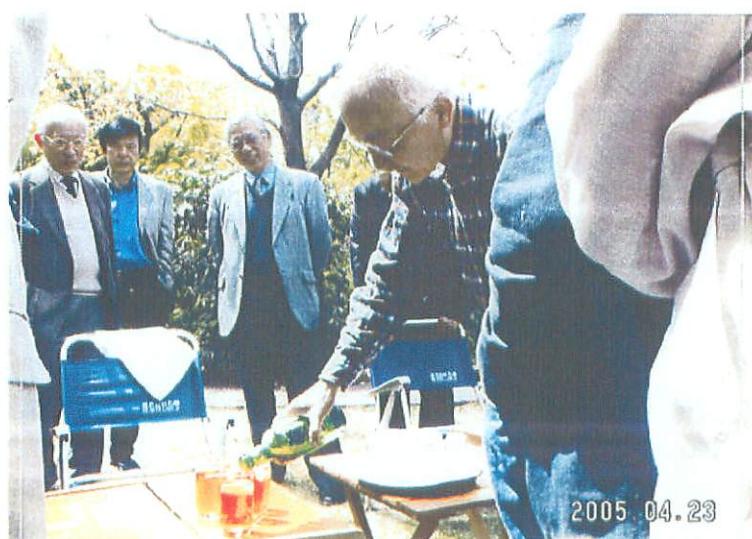
もう 30 年近く前のことになりますが、私が富士通の個別半導体事業部で GaAs FET の事業化に取り組んで四苦八苦していた時、後ほど富士通の社長、会長になった、当時の無線研究部長の関澤さんが、FET 売りたいなら FET はこのように使うんだと言うアプリケーション付でなければだめだよ、と周囲の反対を抑えて部下の新井さん初め 3 名の技術者を私の部に移籍させてくださいました。新井さんとの出会いでした。以来 30 年仕事の相棒として、テニス、ゴルフ、の指南から酒飲み友達としてまで、公私にお付き合いさせていただきました。

富士通のベンチャー制度に応募の時、彼に「一緒にやらないか」と持ちかけたところ、二つ返事で「いいよ、やろう」と言ったときは、私もびっくりしてしまいました。GaAs FET 事業化の初期は、好き勝手な仕事ぶりを容認していた富士通ですが、一旦成功し始めると、姑、小姑よってたかって、頭は押さえつける、足は引張るで、がんじがらめになっていました。新井さんは、職人魂の権化みたいな人ですから、「死ぬまで好きな仕事の出来る会社を作ろう」と言う私の必殺技にコロッといつてしましました。そして 12 年間新井さんは本当に好きな仕事を死ぬまで貫き通しました。何せしがないベンチャー、経済的には苦しい時期もありました。けれども、一度たりともグチをこぼした事はありませんでした。

思い出は尽きる事がありません。そして、私の心の中に、新井さんの思い出は、いつも

でも残っていくでしょう。

合掌



昨年春 新井氏別邸で開催された MWE シニア会講演会と  
燻製パーティーにて ご子息から送られた氷河のオンザロックを  
振る舞い、耳をかたむけるとキンキンと金属音のする太古の叫び  
を参加者に説明する、在りし日の新井陽一氏。

## 学会報告

## IVEC 2006

財団法人 北九州産業学術推進機構

ヒューマンテクノクラスター推進センター長

影山 隆雄

IVEC 2006 は、米国シリコンバレーの南 Monterey 市において 4 月 25 日(火)から 27 日(木)の 3 日間に亘り開催されました。Plenary Session の一部内容を中心に報告いたします。今回は、International Vacuum Electron Sources Conference (IVESC)との合同開催であったため、登録者数は 428 名に上りました。この登録者の地域別の内訳は、次の通りです。北米 344 名、欧州 46 名、アジア 39 名、その他(ブラジル)1 名であり圧倒的に米国からの参加者が多いことがわかります。

初日午前中の Plenary Session において、冒頭、Raytheon の Eli Brookner から "Solid-State and Vacuum Electron Device (VED) Radars—Past, Present and Future" と題してレーダ用途の半導体技術とマイクロ波管技術の進歩が紹介されました。MMIC 技術の進歩によって航空機やミサイル搭載用では半導体素子を用いたレーダが増えているが、艦載や地上用の大型レーダ分野では、コストの面から未だにマグネットロンやクライストロンが数多く採用されている。最近は、半導体技術と VED (TWT)技術を合わせた MPM (Microwave Power Module)の登場によってレーダ装置のコスト低減と小型軽量化が進展している。

次いで MIT の Prof. R.J. Temkin から "Vacuum Electron Devices for Applications in Big Science" と題して①核融合、②大型加速器、そして③テラヘルツ応用における真空デバイス開発の動向が紹介されました。この中では、日本における活動が良く紹介されていました。

International Thermonuclear Experimental Reactor (ITER)プロジェクト向けに日本の原研と東芝で開発している 170GHz 1MW の Gyrotron の状況が報告され、日、米、欧、露、印、中、韓などの Gyrotron 開発・製造分担役割の話も出ていました。

また、大型加速器分野では、14240 個の超伝導加速空洞を用いた International Linear Collider (ILC) プロジェクトが進行しており、1.3GHz, 10MW, 60–65% efficiency の多空洞 Klystron の開発が、世界の 3 大メーカ (Thales(仏), CPI(米), 東芝(日)) で進められ、一つの Klystron で 20 個の加速空洞を励振するとしても合計 712 本の Klystron が必要になるため、Klystron に要求される寸法・重量、コスト、信頼性などの課題は多く、この中で東芝と KEK が進める Multi-beam Klystron の成果が紹介されていました。

テラヘルツ応用における真空デバイス開発の動向では、テラヘルツ領域における Gyrotron 研究開発のパイオニアとして福井大学の出原先生グループと Sydney 大学の F. Brand 先生グループが紹介されていました。MIT の Temkin 先生のところでも 460GHz, 8W 出力の Gyrotron を開発しています。これらの用途としては、X 線に代わるセキュリティーチェックシステムやバイオメディカル分野の開発が進められています。

3 番目は、Air Force Research Laboratory の Kirk E. Hackett から "Directed Energy Applications for High Power Vacuum Electronics" と題して電磁エネルギー兵器として X-band, 1GW の高出力

マイクロ波(HPM)技術や100GHz、100kWの高出力ミリ波技術の開発と試験中の兵器システムの紹介がなされていました。この兵器システムは、イラク紛争においてフセイン政府軍の通信網を分断する目的で使われたとの噂があり、講演に注目が集まりました。

4番目は、General Dynamics の T. Shroyer から "Trends in Satellite Communications Amplifier Applications"と題して、衛星通信分野の地上局と衛星搭載用の電力増幅器の技術動向について紹介された。半導体技術の進歩によって C-band、2kW の地球局用電力増幅器も固体化が進んでいる。しかし、コストは、TWT 増幅器に比べて 3倍以上している。衛星搭載用中継器には圧倒的に TWT が採用されている。理由は、TWT の変換効率が70%前後もあり、半導体の倍以上で、信頼性も高いからである。

来年日本で開催される IVEC 2007 の First Announcement は 下記の如くです。

IVEC 2007

## Eighth IEEE International Vacuum Electronics Conference

May 15-17, 2007  
Kitakyushu International Conference Center  
Kitakyushu, Japan

Deadline of Abstract Submission  
► January 12, 2007

**Technical Subject Categories in IVEC**

- Vacuum Electron Devices**  
TWTS, Klystrons, CFAAs, Multiple Beam Devices, Fast Wave Devices (Gyrotrons, Gyro-amplifiers), Inductive Output Tubes, Free Electron Lasers, Pulse Compression Devices, High Pulse-Power Devices, Power Switches
- Vacuum Nanoelectronics**  
Field Emitter Arrays, Flat Panel Displays, Sensors and Detectors
- Systems and Subsystems**  
MPM, MMPM, EPC, Linearizers, Integration, Reliability
- Technologies**  
Analysis and Computer Modeling, Materials, Component Parts, Electron Emission, RF Breakdown, Measurement Techniques, Miniaturization, Electron Guns, Collectors, Thermal Power Management and Control
- Applications of Vacuum Electron Devices**  
Telecommunications, Space, Defense, Medicine, Particle Accelerators, Radar, Instruments and Lithography, Material Processing, Television, Displays, Electric Propulsion

Conference WEB site <http://www.ivec2007.org>

Sponsored by the IEEE Electron Devices Society  
Contact Us: ivec2007@ics-inc.co.jp

IEEE ELECTRON DEVICES SOCIETY

## 寄稿

### LLC(合同会社)起業のお薦め

柴富 昭洋

最近、米系の新興企業名に〇〇〇LLC と記述されているのをよく目にするようになった。 LLC, 即ち Limited Liability Company (合同会社) である。米国歳入庁 (IRS) の調べでは 1993 年度 LLC は 2 万社そこそこの数であったが、最近では 100 万社をはるかに超える勢いで起業されている。一時衰退化した米国 VB(Venture Business) ブームの再来となり、最近の米国経済の大きな牽引力にもなっていると評されている。一方、日本国内では数年前の商法の改正により 最低資本金制度の撤廃や有限会社法撤廃等により、1 円の資本金からでも株式会社を起業することが容易になった。しかし 起業された方々は身にしみて感じておられるが、起業化を容易にしたとの改正には必ずしもなっていない。特に、IT 産業や、知財を扱う知識産業の起業では実態を必ずしも良く反映していないとの不満があり、経済界、産業界、識者から早急に日本版 LLC を導入しなければならないとの機運が高まってきた。そしてついに 2005 年 6 月 29 日に日本版 LLC を認めた新会社法が発足した。

次世代型企業「日本版 LLC」は米国 LLC にならって、①法人格を持つ、②出資者の有限责任、③法人課税の撤廃と構成員課税の導入、④組織の柔軟性、を期待していたが、③の「法人格がある組織は法人課税」の原則論が先行して、株式会社同様に法人税課税対象となった。しかし、経済、企業、社会のグローバル化に対応してゆくためには、特に米国の VB と対等に対抗してゆくためには③の法人課税撤廃はなんとしても早急に達成しなければならない必要不可欠な項目であると考えている。この日本版 LLC ではこれからの中堅企業が勝ち残っては行けないと危機感から、経済産業省が財務省に LLC に対する法人課税撤廃を積極的に働きかけているようだが、まだ具体的な弊害、影響が見えていないため法改正にはかなりの年月がかかるのではと危惧している。

本寄稿では、LLC 設立の経験 (\*1) を基に LLC のメリットや魅力について従来の株式会社と比較しながら概略的に述べてみたい。株式会社が出資比率に応じて利益を配分することに対して LLC は定款により利益配分の割合を自由に設定できる。株式会社は出資比率に応じて議決権を持つことに対して、LLC は出資者（社員）の全会一致で物事を決める事である。極論ではあるが、株式会社は「金」が主役であり、LLC は「人」が主役であるといえる。

LLC の特徴を下記の 3 件でまとめることができる。

- ① 有限责任：社員（出資者）の負う責任範囲は、自らの出資額が上限であること。
- ② 内部自治原則：自由な経営組織設計が可能なので、独自の定款を作成することにより、事業の目的にあわせた業務遂行に適する組織構成ができる。（LLC にとって定款は憲法のようなものであり、経営権、利益配分・・・全て定款で規定される）

③ 共同事業性：出資者全員が事業に参加しなければならないため、各構成員が持つ“強み”を集約して組織としてのポテンシャルを最大限に発揮できる。

定款の取り決め方によって、「出資だけを行う社員」を存在させられる。この場合は一部の社員（業務執行役員だけが業務の執行にあたることになる。

LLC は言わば現状に即したスリム化した、しかもグローバル化に対応し易い組織構造と経営形態を持った会社と言える。従来の有限会社に類似しているが、残念ながら、有限会社も暫定的に残されているが、そのうち株式会社に一本化される運命にある。LLC と株式会社の根本的に異なるのは、LLC は「出資者と経営者」が同一であるのに対して、株式会社は「会社は株主の所有物であり、株主総会より選出された取締役が経営することである。

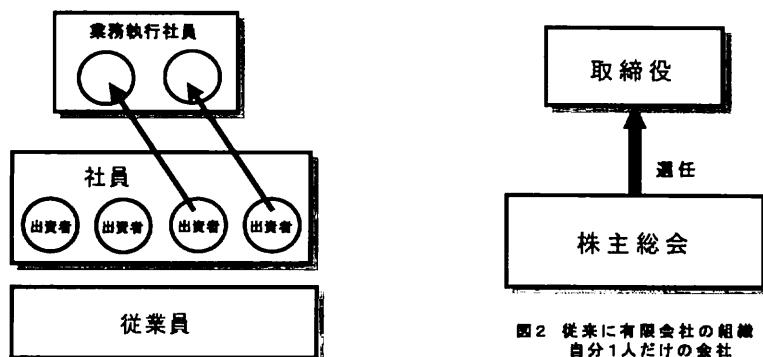


図1 LLC(合同会社)組織の一例

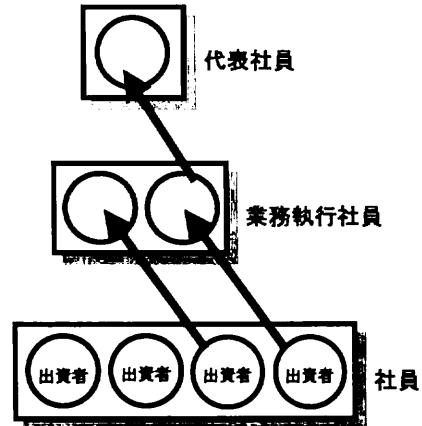
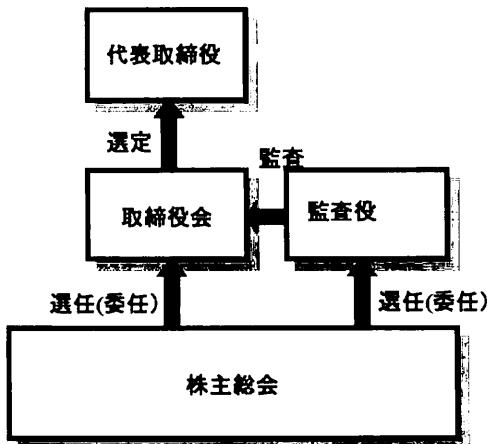
図2 従来に有限会社の組織  
自分1人だけの会社

図1に示す如く LLC は出資者=社員であり、必要とあらば、社員の中から業務執行社員、さらに代表社員を決めて経営することができる。（株式会社での社員は LLC の場合“従業員”と呼ぶ） 株式会社を設立する場合の機関設計では、現行「株主総会」「取締役 3 名以上」「取締役会」「代表取締役」「監査役」の形態が相場であるが、新会社法では 39 もの機関設計が可能であり、特に小さな起業を志すには多くの選択肢がある。しかし、いくら機関設計が簡単になったとはいえ、LLC が最低限、従来の株式会社のような対外的な信頼を得るために、経営が合議制で行われる経営組織を作り外部に知らしめる必要がある。自分ひとりで会社を興すには図2の如く、従来の有限会社的な組織でいいが、複数名の出資者（社員）、がいる場合には、図3の従来の株式会社の組織を図1に基づき機関設計するのが最適であると言える。

LLC の設立にはそのルール(定款)作りが必要であり、定款の取極めが業務執行ベースとなる。

- LLC 設立には、社員になろうとするものが「定款」を作成し、これに全社員が署名押印で始まる。
- 提案の取極めを比較的自由に行え、「定款自治」と呼ばれる経営環境が得られる。

- ・高い自由度を得るために、その組織の構成、社員間の権利義務関係、利益配当、リスク



ヘッジ策、その他の事項について社員となろうとするもの全員の同意の下に多くの取極めをして、定款に記載する必要がある。

以上のことから、LLC 設立の手順は、「定款の作成」「出資金の払込」「登記申請」で完了する。登記申請費用も株式会社設立費用の半額約 15 万円程度である。

LLC に関する詳細は下記をご参照下さい。

- ・「新会社法対応 シロウトでもできる 株式会社&LLC(合同会社)設立マニュアル」  
丸山学著、秀和システム
- ・「LLC とは何か 新会社法と合同会社」 山崎茂雄編著 税務経理協会
- \* 1 : 合同会社 先端配線材料研究所(Advanced Interconnect Materials LLC)  
平成 18 年 6 月 2 日設立、資本金 550 万円、代表社員 柴富昭洋、社員 5 名  
東北大小池淳一教授の知財を中心に、大学で得られた知財を 企業経験の技術者が、如何に企業化するか、如何に補強するかの技術支援とコンサルティングを行う。そして大学と企業との間の橋渡しと関連する研究開発を主要業務とする。(大学発ベンチャーのモデルケースを目指している)  
業務内容：配線材料、電子材料の研究開発、技術コンサルタント、知財のコンサルタント。本社：宮城県名取市

以上

## 会社紹介

### 日本無線硝子株式会社

代表取締役社長 奥野 清則

**概要** 埼玉県の南西部、池袋から電車で40分程の「ふじみ野市」に日本無線硝子株式会社の本社工場があります。日本無線硝子株式会社は1943年（S18年）に、日本無線株式会社の真空管ガラス工場として発足しました。1955年（S30年）に独立し、真空管用ガラス、集魚灯用ガラス、屋外照明用ガラス等の硬質ガラスの生産を主体に発展してきました。その後1979年（S54年）に、東芝硝子株式会社（現 旭テクノグラス株式会社）と提携し、同社の資本参加を得るとともに、同社

川崎工場の従業員、設備を当社に集約し、新たに日本無線硝子株式会社を発足させ、現在に至っています。

敷地面積18,800m<sup>2</sup>の中に、大型電気溶融炉1機、小型単独炉9機、連続徐冷炉4機、ガラス加工機などを設置し、硬質ガラス（耐熱ガラス）の溶融から成型、加工まで手がける専門メーカーで、高いガラス加工技術がお客様の製品で活躍しています。



執務中の奥野氏

**硬質ガラスの特長** 硬質ガラスは熱膨張係数が非常に小さいガラスで、耐熱性が高く、化学的耐久性も高いなど、優れた特性を持っていて理化学用器材、照明用機材、産業用機材、光学用部品、電子部品として幅広く使用されています。

当社の主なガラス材料は、珪酸（シリカ：SiO<sub>2</sub>）を主成分に、少量の硼酸（B<sub>2</sub>O<sub>3</sub>）を添加した硼珪酸（ほうけいさん）ガラスで、硬質ガラスの代表的な種類です。熱膨張係数は34～60（×10<sup>-7</sup>/℃）で用途により調整可能です。

**製品紹介** 当社の特長は長年培ってきた手吹き技能者の匠の技にあります。今では日本で唯一の存在で、これらのガラス成型技術は電子管や大型電球用バルブなど、高精度製品を効率よく生産する上で必要不可欠となっています。

- ・**電子管** ガラスと金属材料を封着し気密性を得る加工技術は、ガラスの優れた特長とあいまって、真空容器や絶縁部品として欠かせません。

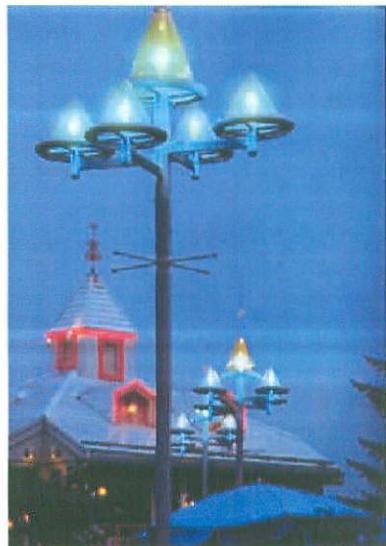


当社は、永年培ってきたガラス加工技術をもって、医療用イメージ管、X線管など、お客様の求める高度な技術・品質水準の製品を供給しています。



謎の素粒子ニュートリノの発見で、話題をあつめたスーパーカミオカンデ。その心臓部が直径50cmの大型光電子増倍管です。これは科学者の求める優れた特性のガラスの開発と、手吹き技能者の匠の技で作り出された傑作です。

- ・**照明機器** ハイウェイ・公園・商店街などを明るく照らし出す放電灯、屋外の温度変化の厳しい環境で使用される集魚灯や大型放電灯など、お客様の厳しい品質要求に答えています。



ベイブリッジや瀬戸大橋を鮮やかに彩る照明は、道路交通の安全性とともに、優れた景観をイメージアップする役割を担っています。道路照明用の大型グローブから、鮮やかにデザインされた街路灯など、皆様のご要求に答えた生産を行っています。

- ・**産業機器** 当社の特殊ガラス製品は、航空機の着陸誘導灯、安全な運行を支える航空標識灯、舞台照明用フレネルレンズ等、社会基盤の支えとして役立っています。



大容量電力貯蔵 2 次電池システム。この最先端装置の中にも、当社のガラス絶縁体が活躍しています。お客様のニーズに合わせ、常に新しいガラス、新製品を生み出しているのも当社の特長です。高いガラス加工技術をお客様の製品にご活用ください。

ガラスが人類によって造られたのは何時だったか正確には判明していません。でもエジプトの砂漠で火をたいた跡に、キラキラ輝くガラス玉が見つかったのは、紀元前 5,000 年と言われています。今ではガラスは日常どこでも使われ、様々なものに加工され、無限の可能性を秘めています。私達はこのガラス良さを皆様に伝えるプロフェッショナルです。



ティーチング・ジョージヤ(黄)  
アンジェラ (ピンク) アルベリック・バルビエ(白)

## 1. まえがき

何故ケーキ作りか？と問われても明確な回答はできないが、根っからの甘党に物作りが好きということが重なり、更に家族、親戚こぞって甘党で、ケーキ作りに理解があるという環境にも支えられて始まった。どういう趣味にも共通しているのではないかと思うが、始めてみてすんなりとは行かない。当初は段取りも悪く、失敗の連続であるが、たまにはヒットを飛ばして周囲におだてられ、次にはこうしよう、あれにチャレンジしようとだんだん深みに嵌っていく。そんな経緯で今も続いている。まだ始まってそれほど経験を積んでいるわけでもなく、「趣味悠々」の段階に至っていないが、道半ばということで書いてみることにする。

## 2. 初期段階

始めたきっかけは、7年前、一時期ラインから外れ専門職となり、土日に若干時間ができた時である。この空いた時間、ゴルフの練習以外に何かやってみようと貧乏根性を起こし、上記のような環境もあって、始めてみた。

全くといって良いほどケーキ作りなどやったことが無かつたため、道具などが何処に保管されているかも含めて家内の手ほどきで始まった。とりあえず家にシフォンケーキのレシピがあったので、これを作つてみた。このレシピは、下井佳子さんというお菓子の研究家が書かれた文字通り「シフォンケーキ」という本で、21のバリエーションと共に書かれているものであった。有難いことに、道具の説明及び使い方、材料の説明、卵の泡立て方など細かに書かれており、初心者としては大いに助かった。恥ずかしいことに「メレンゲ」などという言葉をこの時初めて知つた状態であった。

### (1) シフォンケーキ

最初に手がけたこのケーキは、米国発祥のケーキである。このレシピの考案者が20年間もレシピを公開せず、やっと1947年に公開され、一般に知られるようになった。当時はベーキングパウダーにより膨らませる方法であったものの様であるが、下井さんの方法はメレンゲによって膨らませる方法である。

ケーキの生地を膨らませる方法には上記の通り2種類ある。すなわち、ベーキングパウダーによる化学的方法と、メレンゲによる物理的方法である。ベーキングパウダーはその主成分である重炭酸ソーダが水と熱により分解し二酸化炭素を発生させることにより無数の気泡ができ、それをでんぷんの膜が取り巻くことによりスポンジ状になる。一方、メレンゲは、卵白に砂糖を加えて十分に泡立てることにより細かい気泡を作り、それに粉を混ぜて焼くことにより気泡が熱で膨張し、それをでんぷんの膜が取り巻くことによってスポンジ生地が出来上がるものである。ベーキン



写真1 シフォンケーキの例

グパウダーによる方法は、ベーキングパウダー特有の臭いが残るが、食感は歯切れがよくさらっとしている。一方、メレンゲによる方法は、癖のある臭いも無く、うまく作れば食感も良いらしい。

作ってみた。何度か失敗したが、良く膨らむようになり、周りに生クリームやモンブランの様な栗のペーストのコーティング等を試して見た。1例を写真1に示す。しかし、どうも生地に若干弾力があり、歯切れが良くない。これを改善する前に、次に記すスポンジ製作に行ってしまったために、まだ道半ばである。

## (2) スポンジ

最も基本的なケーキの生地（台）である。どこのケーキ屋さんにもある苺のショートケーキの台であり、それ以外にも多くのケーキの台にしたり、ケーキの一部に使ったりするものである。このスポンジをマスターしない限りケーキを作っているとは言えない。少し真面目に取り組もうと思い立ち、専門の雑誌を購入した。スポンジは、その泡立て方に2種類ある。別立て法と共立て法である。一般によく行われる方法は別立て法であり、卵の黄身と白身を分離し、白身は良く泡立ててメレンゲを作り、別に泡立てた黄身と合わせ、しかる後に薄力粉と溶かしバターを加える方法。一方、共立て法は黄身と白身を一緒にしたまま泡立てる方法であり、泡立てに時間がかかりいつまで泡立ててもどろどろしていく十分に泡立ったのか見分けにくい。共立て法は失敗する可能性が高いが、スポンジの出来栄えはより細やかの様に思える。

うまく作るための注意事項が6項目ある。話が細かくなるので省略するが、一つだけ紹介すると、使用するオーブンの特性で、温度、焼き時間の最適値を見出す必要があることである。更に、素人が作る場合にも、ソフト仕上げという機能（加熱するときだけ空気を攪拌する機能）がついている方がスポンジのできばえが良いように思う。

作ってみた。当初は温度や時間が適切でなく、手際も悪く、幾つ失敗したことか。始めたころ、作ったケーキの記録をとり、周囲の評価を×△○◎で評価していた。◎が続くようになつたのは、始めてから1年後ぐらいである。改善を図るために、レシピに評価の欄を設け、周囲の感想や、次回の改善点を記入した。次回は焼き時間を5分伸ばそう、など。

スポンジ台を使った苺のショートケーキの1例を写真2に示す。周囲は生クリームであり、好みの苺をふんだんに使う。これも自前の楽しみの1つ。

スポンジも無数のバリエーションがある。チョコレート風味、アーモンドパウダーをえたもの、コンスターチを加え軽い食感にしたもの、等々。これも道半ばである。

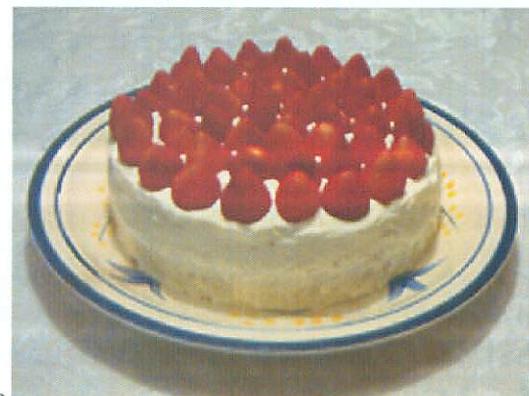


写真2 莓のショートケーキ

## 3. 失敗の少ないケーキ

来客やホームパーティーなどがある場合、自分の得意なケーキを見つけておくと都合が良い。失敗が少なく、結構美味しいケーキである。いろいろ作ってみた中で、ザッハトル

テとベークドチーズケーキが今のところ得意なケーキである。

### (1) ザッハトルテ

このケーキは、ウイーンの菓子職人フランツ・ザッハーが 1832 年に考案したと言われているオーストリアを代表するチョコレートケーキである。そのレシピは門外不出であったが、ザッハ一家から他家に嫁した際に漏れ、その後一般に流布するようになったものらしい。大量のバターとチョコレートと砂糖を使った密度の高いスポンジの台に杏ジャムを塗り、その周りにチョコレートの層でコーティングしたケーキで、砂糖を入れない生クリームと一緒に食べる。私はスポンジを作る際に風味付けにブランデーを入れることにしている。ドイツ系の菓子らしく、極めて濃厚である。これが結構来客に受ける。外観を写真 3 に示す。粗熱取りやコーティングチョコレートの冷却時間も含めて素人が 1 個作るのに 10 時間を要する。飾り気の無いケーキであるがこれもドイツ系ケーキの特徴である。



写真 3 ザッハトルテの外観

### (2) ベークドチーズケーキ

このケーキはご家庭で作る向きも多いと思う。比較的簡単で、美味しく失敗は殆んど無いと言って良い。クリームチーズを使って焼くという基本レシピは何処かの国の誰かが考案したであろうが、よく分からぬ。現在は、世にあるクリームチーズの種類の数だけレシピがあると言って良いほど一般的なケーキになっている。私がよく作るのは、専門雑誌にあった比較的低温（140°C）で長時間（2.5 時間）蒸し焼きにするケーキである。スーパーでもよく売られているフィラデルフィアクリームチーズを使うが、このチーズだけ作ると真 2 つに裂けてしまうという経験をした。フィラデルフィアクリームチーズが固めのチーズの為であり、これに、国産あるいはオーストラリア産等の柔らかいクリームチーズを半々に混ぜる必要がある。この外観を写真 4 に示す。この外観は生クリームを塗っているため、ショートケーキの様であるが、チーズケーキである。

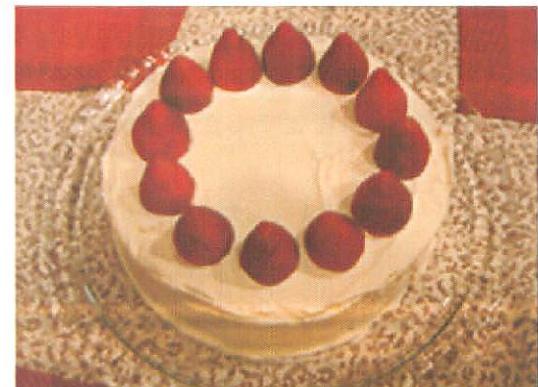


写真 4 ベークドチーズケーキの概観

## 4. 骨の折れるケーキ

いろいろ作った中で、最も大変だったには、オペラというケーキであった。このケーキはフランスパリのオペラ座の近くにある菓子店（ダロワイヨ）のパティシエが考案したという説が有力の様である。このケーキは、ビスキュイ・ジョコンドと呼ばれる薄い一種のスポンジ生地を作り、これにガナッシュ（チョコレート）、モカシロップ（コーヒー）を塗った（浸み込ませる）ものや、コーヒー風味のバタークリーム、チョコレートの層などを

多層に積み上げて作る。素人がこれを作る場合、これらの各層（部品）作りから始める事になる。これを作ったときはわくわくしながら3日間没頭した。今これを作れと言われてもよほど体調が良くその気にならないとなかなか作れない。折角苦労して作ったのに写真が無く、残念である。作り終わった後の疲労と達成感で写真を撮る余裕もなかったということであろう。

### 5. バリエーションの多いタルト

タルトの生地（枠）（これも何種類がある）の中に、好みに応じてチョコレート等の各種ムース、チーズケーキの生地などを入れて焼くことにより様々なバリエーションを楽しむことができる。フランスが本場と言われるタルトは専門店もあるほど良く市販されている。写真5に例示するのは、タルト生地の中に、アーモンドパウダーで作ったスポンジ生地の層を敷いて焼き、苺のリキュール入りのシロップを浸み込ませ、その上に約1cmの生クリームの層を敷き、更にその上に小粒の苺を敷き詰めたものである。なかなか好評の苺のタルトである。

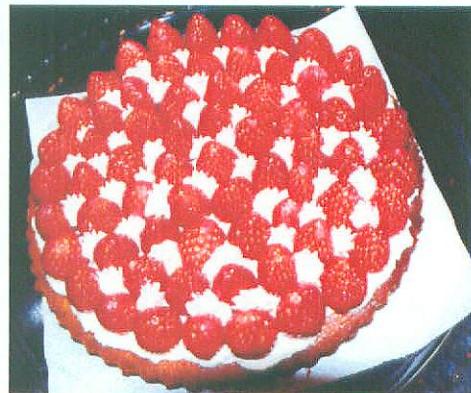


写真5 莓のタルト

### 6. まとめ

今までのところ、32種ほどのケーキ製作を試み、そのうちの一部を紹介させていただいた。上記に紹介した他によく作るのは、ショートクリーム、クッキー、ドーナツ、アップルパイなど1~3時間程度ででき、作り立てを楽しめる単品である。

私にとって難しいのは、デコレーションである。ケーキ作りで最も費用を要するものはデコレーションであり、ケーキ職人の腕の見せ所である。従って、素人には極めて難しい。いろいろ努力はしているものの、素人じみているが、これもご愛嬌で皆さん笑って楽しんでくれる。写真6にバタークリームのスポンジケーキのデコレーションの例を示す。



写真6 デコレーションの例

ケーキは、パーティーの主役ではない。無くとも済む。しかし、有ると無いとでは華やかさや豊かさが随分と違ってくると思う。まして、皆さんをおもてなしするために自分で作れば、これは大いに関心を持っていただける。また、家族の誕生日には、自作のケーキが当たり前になっており、受け入れてくれる人がいるということは嬉しいものである。ケーキは、素材、作り方、その組み合わせなど無数にバリエーションがあり、奥が深い。この点からも道半ばである。これからも折に触れてチャレンジしてみたいと思っている。

## Mwe シニア会ゴルフ同好会便り

第21回Mwe シニア会ゴルフ大会は6月3日(土)に、15名の方が参加され、東松山CCで開催されました。

梅雨の走りで天候が心配されましたが、曇り空でホッとした束の間、事故渋滞で遅刻者続出というハプニング。何とか2組が先行し、後続組みは2時間遅れのスタートと変則なコンペになってしまいました。

さて優勝争いの方は、渋滞に巻き込まれた後続組みは、精神的な疲れが精彩を欠き、一人で後続組を待ちながらパット練習に励んだ平井選手が、アンダーパーで見事に優勝されました。また同時に優勝杯の取りきり戦も制し、完全優勝を成し遂げられました。

### 第21回 Mwe シニア会ゴルフ大会

優 勝	平井 克己	Net 70 (Gross 91)
準優勝	柴富 昭洋	Net 75 (Gross 94)
第3位	井下 佳弘	Net 79 (Gross 101)



平井選手（左）へ小山氏から優勝杯の贈呈  
☆☆☆ 優勝おめでとうございます ☆☆☆



優勝杯取りきり戦  
勝者 平井選手

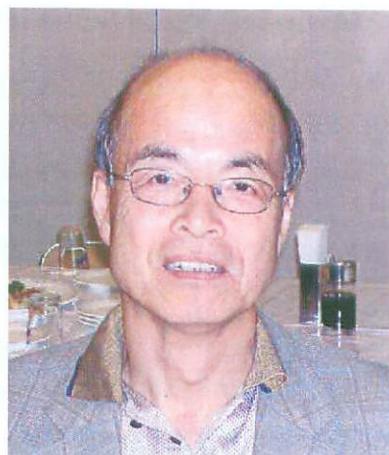


準優勝 柴富選手



第3位 井下選手

		中	西	Gross	HDCP	NET	順位	新 HC
第 1 組	伊東 正展	61	57	118	25	93		
	奥野 清則	46	54	100	9	91		
	高松 秀男	54	50	104	20	84		
	坂野 泰正	53	55	108	22	86		
第 2 組	井下 佳弘	53	48	101	22	79	第3位	20
	泉 彰	53	66	119	22	97		
	神谷 峰夫	52	56	108	22	86		
	柴富 昭洋	45	49	94	19	75	準優勝	16
第 3 組	小山 悅雄	46	46	92	6	86		
	酒井 正人	61	65	118	35	83		
	菅田 孝之	53	54	107	23	84		
	松本 巍	52	59	111	24	87		
第 4 組	佐藤 軍吉	52	57	109	28	81		
	田中 淳	55	52	107	18	89		
	平井 克己	45	46	91	21	70	優勝	15



新会員の神谷峰夫氏



H17年度MVPの奥野選手（左）へ  
最優秀選手賞の贈呈



懇親会の様子

## Mwe シニア会ゴルフ同好会便り

第22回Mwe シニア会ゴルフ大会は9月16日(土)に、富士山を仰ぎ見る、富士宮GCで開催されました。今回は女性ゲスト3名を迎えて、総勢19名の華やかな大会でした。

結果は、松永選手が7アンダーの快挙を達成され、見事に優勝されました。また準優勝の北爪選手も1アンダーで、Mwe シニア会ゴルフ同好会の実力?を証明されました。

さて懇親会は北爪様の別荘に所を変え、BBQを楽しみながらの楽しいゴルフ談義が、夜遅くまで続きました。

### 第22回 Mwe シニア会ゴルフ大会

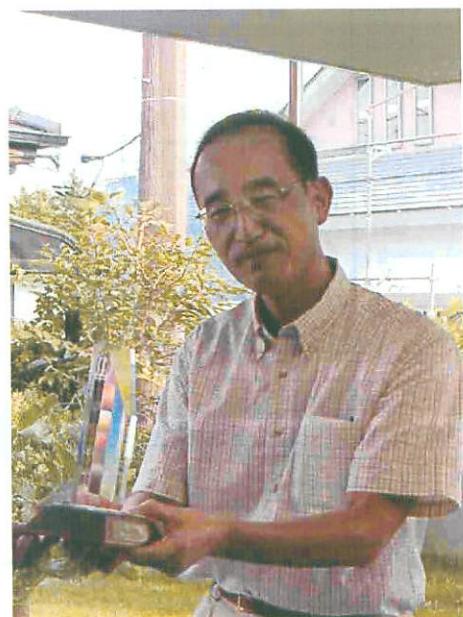
優勝	松永 誠	Net 65 (Gross 98)
準優勝	北爪 進	Net 71 (Gross 89)
第3位	高松 秀男	Net 74 (Gross 94)

L D賞	小渕 知己	220Y
	柴富 昭洋	230Y

N P賞	高松 秀男	1.2m
	泉 彰	3.79m



富士山が姿を現し、歓迎してくれました



☆☆ 優勝おめでとうございます ☆☆

初優勝の松永選手



懇親会の様子



前回優勝者の平井選手へ  
レプリカの贈呈

		OUT	IN	Gross	HDCP	NET	順位	次回 HC
第 1 組	北爪 進	41	48	89	18	71	準優勝	15
	小渕 知己	61	62	123	27	96		
	腰坂 三郎 *	51	64	115	18	97		
	堀井 良子 *	60	61	121	33	88		
第 2 組	奥野 清則	52	48	100	9	91		
	小山 悅雄	43	47	90	6	84		
	柴富 昭洋	45	47	92	16	76		
	北爪 愛子 *	57	60	117	33	84		
第 3 組	井下 佳弘	55	50	105	20	85		
	倉地 孝一	55	52	107	15	92		
	菅田 孝之	51	47	98	23	75		
	谷口 道子 *	47	46	93	25	68		21
第 4 組	伊東 正展	56	49	105	25	80		
	高松 秀男	43	51	94	20	74	第3位	19
	伊藤 勝千 *	50	46	96	15	81		
	谷口 光洋 *	38	45	83	15	68		11
第 5 組	泉 彰	60	51	111	22	89		
	松永 誠	48	50	98	33	65	優勝	24
	平井 克己	54	53	107	15	92		
* はゲスト参加者								

## Mwe シニア会行事の状況と今後の活動計画

### ★ 総会・講演会・懇親会の企画提案

5月 12日(金)： MWE シニア会役員選挙

5月 29日(水)： 東京 高輪プリンスホテル ビジネスセンター総会、懇親会

講演会 脇野喜久男氏、「セラミック誘電体材料開発の 50 年と最近の動向」

12月上旬：KDDI 茨城局見学会予定。

12月 11日： 講演会、利酒会、懇親会 パシフィコ横浜、レストラン FLO 横浜

講演会：田辺 英二氏、「マイクロ波の癌治療への応用について」

### ★ Mwe シニア会ゴルフ同好会

第 20 回大会、3月 11 日(土)、立川国際 CC,草花コース開催。

第 21 回大会、6月 3 日(土)、東松山 CC にて開催。

第 22 回大会、9月 16 日 (土) 富士宮 GC, BBQ 懇親会開催。

第 23 回大会 12月 3 日 (日) 千葉、御宿、キャメルリゾート GC, 前日恒例の忘年会を開催予定。

(幹事：奥野、平井、松本)

### ★ Mwe シニア会囲碁同好会、

第 1 回、7月 29 日、

第 2 回、10月 21 日

第 3 回、1月 14 日

第 4 回、3月 25 日

(幹事：平井、平野、北爪、)

### 編集雑感：

還暦を過ぎた仲間が集まる話題といえば、必ず、やれ高血圧だ、血糖値が高い、コレステロール値が高い、腰や関節が痛い・・・と生活習慣病が話題になる今日この頃であった。今年の 2 月の末、鼻血が止まらなくなり、病院に駆け込んだところ、超高血圧症と診断された。ここ数年の人間ドック診断でも特に問題は無く、全く晴天の霹靂であった。仮面高血圧症（？）とのことらしい。降圧剤を飲み、酒を断ち、食事療法が功を奏したのか 1ヶ月程してやっと標準値になった。折りも折り 友人で当会員でもある新井さんが脳溢血で入院されたとお聞きした。そして、ご不幸にも意識が戻らぬまま、9 月にお亡くなりになった。病院に駆け込んだ時、医師より、還暦にもなって、血圧計も無く、毎日の血圧管理をしていないのは非常識極まりないと叱責された。朝夕の血圧測定と適正な食事療法、適度な運動〔1 日 1 万歩目標〕により、まだ降圧剤のお世話になっているが、適正な血圧を維持している。歩くということは第二の心臓を働かせているとのこと。心臓疾患にも多大な効果があるとのことでした。お酒を飲むと 2 日目から急激に血圧が 20~30 上がり 1 週間程かけて標準値に戻ることもわかった。新井さんの通夜の折、“健康は何事にもかえられない！”と再認識した次第である。ゴルフカートにも乗らず、ひたすら谷歩き、山歩きを行っている。

(柴富)

## Mwe シニア会 会員の加入状況

Mwe シニア会に 下記の 2名の方が入会されました。2006年 10月末現在、個人会員 63名、賛助会員 2名（個人 1, 法人 1）となりました。

今後とも会員数の拡大に向け皆様のご協力をお願い致します。

新入会者：

木下 亮英氏： JSAT 株式会社

谷口 光洋氏：

\*\*\*\*\*

## 会員名簿（五十音順・敬称略）

青野 義夫	佐藤 軍吉
赤田 邦雄	篠原 己抜
栗井 郁雄	柴富 昭洋
飯田 明夫	菅田 孝之
井下 佳弘	鈴木 洋介
石田 修己	関延 正昭
石原 浩行	高木 直
泉 彰	高橋 弘
井田 雅夫	高松 秀男
伊東 正展	武田 茂
上野 清	田中 淳
植之原 道行	田辺 英二
大友 元春	遠山 嘉一
大沼 透	百々 仁次郎
小川 宏	鳥塚 英樹
奥野 清則	西川 敏夫
小渕知己	橋本 勉
影山 隆雄	平井 克己
春日 義男	平野 裕
風神 裕	堀 重和
片木孝至	本間 邦夫
神谷 峰夫	牧本 三夫
北爪 進	松永 誠
北原 雄二	松本 巍
久崎 力	三島 克彦
許 端邦	水晶 静夫
紅林秀 都司	山下 輿慶
倉知 孝一	脇野 喜久男
小林 禧夫	
小山 悅雄	
酒井 正人	
坂野 泰正	
佐川 守一	

### 賛助会員

関 周 (個人)

アイ電子 (株) (法人)